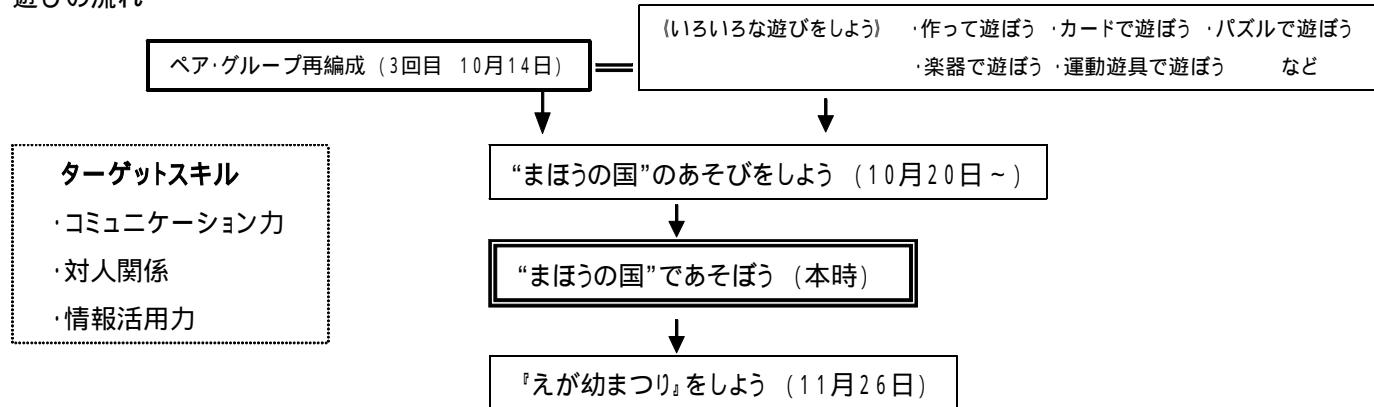


「“まほうの国”であそぼう」

遊びの流れ



本時のねらい

<共通>・“まほうの国”的遊びに参加し、ペアの友達と一緒に楽しく遊ぶ。

<4歳児>・自分の思いを出しながら、5歳児とかかわって楽しく遊ぶ。

<5歳児>・ペアの友達とルールや考えを伝え合い、4歳児をリードして遊ぶ。

時 間	活動の流れ	援助及び配慮
13:40	<p>“まほうの国”的広場に集まり、座る。 環境図 参照</p> <p>ふれあい遊びする。 ・「れもん汁」 ・「なべなべ」</p> <p>あいさつをする。 “まほうの国”的遊びを始める。 環境図 参照</p> <p>・まほうの国の住人(遊びの係)は遊びの準備をする。</p> <p>・まほうつかいの子ども達はまほうのほうきの所に移動し、遊びに行く“国”について話し合っておく。</p> <p>【まほうの国】のグループ <まほうの帽子をかぶる></p> <p>【まほうつかいのグループ】 <まほうのほうきに乗る></p>	<p>子ども達が興味をもつ内容のコーナーを設定して、ペアで楽しく活動できるように環境づくりをしておく。</p> <p>まほうの国の住人はまほうの帽子をかぶり、役割がわかるようにしておく。</p> <p>ペアでふれあい遊びをし、気持ちをほぐして楽しい雰囲気で遊びが始められるようにする。</p> <p>互いにあいさつをし、幼稚園・中学校の友達と今日も一緒に遊べることを喜び、かかわることの楽しさが感じられるようにする。</p> <p>まほうの国の住人は準備物を整え、まほうつかいになったグループが楽しく遊べるようにする。</p> <p>まほうつかいになった子ども達はどの遊びから始めるかを相談し、“アイテム”をもらうことに期待がもてるようになる。</p> <p>多くの子ども達が移動するので、安全に気を付け、状況を見て動けるように助言をする。</p> <p>4・5歳児や中学生が、かかわって活動する様子を見守り、互いのことを気遣う姿を認め、声をかけるようにする。</p> <p>まほうの国の住人がまほうつかいに遊びの方法を伝え、遊びがクリアできるように応援する姿を認める。</p> <p>一つの遊びが終わったペアは次の遊びへ移動し、多くの体験ができるようにする。</p>
13:50	<p>・まほうつかいの子ども達が遊びに出かける。</p> <p>・まほうつかいは、ペアで遊びをクリアすると “まほうのアイテム”がもらえる。</p>	<p>ペアで協力していることや工夫していることを認め、周囲の子ども達にも知らせて広めるようにする。</p> <p>子ども達のかかわりや、よい面、困った事なども記録し、次の活動につなげるようにする。</p>
14:15	片付けをする。	片付けは自分達の国で協力して行えるようにする。また、早く片付けが終わったら、まだ片付いていない所を手伝うように助言する。
14:20	<p>“まほうの国”的広場に集まる。 環境図 参照</p> <p>今日の遊びについて話をする</p> <p>・楽しかったこと、友達の頑張っていたこと</p> <p>・困ったこと</p> <p>・中学生への思い など</p>	<p>楽しかったこと、頑張ったことなどを話し、互いに認め合うことで、一緒に遊びをクリアしたことの喜びが感じられるようにする。</p> <p>困ったことは話し合って解決し、次回も楽しく遊びに参加する気持ちがもてるようになる。</p> <p>中学生とも感想を話し合う機会をつくり、今後の交流に期待がもてるようになる。</p>
14:30	あいさつをする。 解散する。	今日の活動が次の遊びに生かせるよう声をかけ合い、解散する。